

2025 年 4 月 25 日

日本ゼオン、大画面液晶テレビ用位相差フィルムの増設を決定 富山県氷見市に製造ライン増設、3,000mm 幅を生産へ

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：豊嶋 哲也 以下、ゼオン）は、氷見二上工場（富山県氷見市）において、大画面液晶テレビ用位相差フィルムの新ライン増設を決定いたしました。今回の増設により、拡大が見込まれる大画面テレビ市場向け製品供給が拡大することに加え、敦賀工場（福井県敦賀市）と併せた 2 拠点体制をさらに盤石にすることでBCP強化も図ります。増設後のゼオンのテレビ用位相差フィルムの生産能力は約20%増え、年間 26,400 万㎡に拡大します。新ラインは、2025 年 12 月に着工、2027 年夏の量産開始を目指します。

ゼオンの光学フィルム（製品名：ZeonorFilm® 以下、ゼオノアフィルム）は、ゼオン独自のポリマー設計技術で開発した熱可塑性プラスチック（シクロオレフィンポリマー* 以下、COP）を原料に用い、世界初となる熔融押出法により生産されています。ゼオノアフィルムは、高い光学特性と優れた寸法安定性を有しており、大型テレビやモバイル機器のディスプレイに視野角補償や反射防止等の機能を持たせる位相差フィルム用途を中心に需要が拡大しています。

2020 年以降、ゼオンは液晶パネルの大型化に伴い、2,500mm 幅フィルムの生産を敦賀工場にて行っており、現在、同幅2系列の生産設備を有しています。今回の投資は、さらに加速する大型化ニーズに応えるもので、最大 130 インチの液晶パネル生産にも対応可能な世界最大級となる 3,000mm 幅フィルムを生産します。

今回は、氷見二上工場内に新たな建屋を建設し、年間 4,500 万㎡の生産能力を有する設備を導入します。本増設完了後の 2,500 mm幅以上のフィルム生産能力は 14,500 万㎡となり、テレビ用位相差フィルム全体の生産能力は年間 26,400 万㎡に拡大します。なお、今回の増設ラインの量産開始は 2027 年夏を予定しており、操業人員の確保も進めてまいります。



氷見二上工場（氷見市）

ゼオンは、中期経営計画STAGE30 において磨き上げる既存事業のひとつに COP を掲げており、今後も市場ニーズを捉え社会の期待に応えるとともに、人々の快適なくらしに貢献してまいります。

*シクロオレフィンポリマー（COP）：

ゼオンが独自開発した「低吸水性」「低不純物」「低アウトガス」などの特長を持つ透明性が高い熱可塑性プラスチック。光学、医療、半導体搬送容器などの幅広い用途に使用される。2025 年 9 月には高岡工場内でリサイクルプラント（年産能力：6,000 トン）が稼働開始、2028 年には山梨県周南市において新プラント（年産能力：12,000 トン）の稼働を予定。

ゼオノアフィルムは、COP を独自技術で加工したフィルムで、COP の低吸水性を活かし、優れた寸法安定性を誇ることで特に大型パネルにおいて強みを発揮。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室

電話：03-3216-2747 お問い合わせフォームは[こちら](#)